

議題	基準諮問会議からの報告
項目	議事要旨 1 (テーマ提案)

(議事要旨 1) テーマ提案について

企業会計基準委員会 (ASBJ) 事務局の宗延専門研究員より、前回の基準諮問会議 (2021 年 11 月 29 日開催) において提案された次のテーマ提案について、現状の対応状況を報告した。

テーマの内容	対応
(1) いわゆる現物出資構成による取引に関する会計基準の開発	前回の基準諮問会議において、実務対応専門委員会にテーマアップの評価を依頼することとなったが、現在は事務局において論点の整理を行っている。
(2) 現金決済型の株式報酬取引に関する会計基準の開発	上記(1)の整理を優先し、その後、事務局において(3)と合わせて論点の整理を行い、次回以降の基準諮問会議で議論する。
(3) インセンティブ報酬に関する包括的な会計基準の開発	(2)に記載のとおり。

これに対し、基準諮問会議委員より、以下の意見が聞かれた。

- 現在は事務局において、論点の整理等が行われているということであり、資本会計についての難易度の高い論点と認識しているが、株式報酬は、長期インセンティブとして持続的な成長の原動力となるものであり、是非とも前向きに会計処理について検討していただきたい。
- いわゆる現物出資構成による取引の実務上の会計処理については、会社法上いわゆる労務出資の禁止に触れる可能性があるなど、違法な可能性のある会計処理であり、ASBJ においていわゆる現物出資構成による取引の会計処理についてどうあるべきなのか、審議を進めていただきたい。
- 財務諸表利用者の観点からも、株式報酬に関して実務対応レベルのテーマと、包括的な会計基準レベルのテーマに分けた上で検討する ASBJ 事務局の方針について同意する。

議長より、これらの意見について、ASBJ に報告する旨の発言がなされた。

以 上